

技術者の会 “ニュースレター”(issue5)

Professional Engineers Association of Urban
Disaster Preparedness

発行日：平成 17 年 1 月 1 日
事務局：(太田ジオリサーチ内)
都市災害に備える技術者の会
〒651-1432
兵庫県西宮市すみれ台 3 - 1
TEL:078-907-3120 FAX: 078-907-3123
URL:http://toshisaigai.net/
e-mail: office@toshisaigai.net

TOPICS

1. 理事長ご挨拶..... 1
2. 活動予定.....2
3. 活動報告.....3
4. 事務局より.....3

1. 理事長ご挨拶

新年を迎えて

明けましておめでとう
ございます。

拝啓 皆様にはご家族共
どもよい新年を迎えられ
た事と拝察いたしまして

心からお慶び申し上げます。

昨年は日本国内ばかりでなく、スマトラ沖大地
震が年末に発生し、現地の人達ばかりでなくて、
当時居合わせた日本人を含む諸外国人、観光客
など約 15 万人にもものぼる犠牲者が出たよう
です。ここに改めて世界の物故者に対し、敬愛な
るお祈りを捧げます。

さて、本会の活動も 2 年目を迎えようとしてお
りますが、本紙を通じてお知らせしている通り、
お陰様で、研修講演会、パネルディスカッショ
ンや行政やその関係者団体との交流、緊急時の
相互援助体制の構築、その他会報を通じての組
織内外への活動現況の報告など、皆様の幅広い
ご支援、ご協力の元に活発化しております。

今年も皆様の益々のご発展を祈願し、役員と企
画委員一同と共に新年のご挨拶を申し上げます。
敬具



笹山理事長

ご挨拶

初春のおよろこびを申し上げます。

拝啓 会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこ
とと存じます。

すでに皆様もご承知のように昨年は国内外で自然
界の多様な型での反乱に遭い、多数の尊い生命と多
大の貴重な財を失いました。そして再び 10 年前のあ
の「阪神・淡路大震災」を思い起こされた方も多い
と思います。この一年の本会の活動も次第に広がり
つつありますが、会員数(個人、団体共)を増強し、
収益事業も増収の道を計る必要があります。それ
には皆様のご協力のもと私達もそれぞれの立場で勤
める所存であります。 敬具

河田 恵昭、梅田 昌郎、溜水 義久
室崎 益輝、山田 俊満、野阪 正美

他役員、企画委員会 一同

2. 活動予定

詳細は次ページ

来る 1 月 20 日(木)皆さんもご承知のとおり主催：
日本技術士会近畿支部、当会が共催でシンポジウム
が開催されます。特に今回は、震災発生より 10 周年
を迎え、これを記念して神戸会場では私達の行事は、
国連防災世界会議として位置付けられております。
このように貴重な機会となりましたので、会員の皆
さん奮ってご参加ください。

第9回「震災対策技術展」 シンポジウム開催

日 時:平成 17 年 1 月 20 日(木) 13:00～17:00

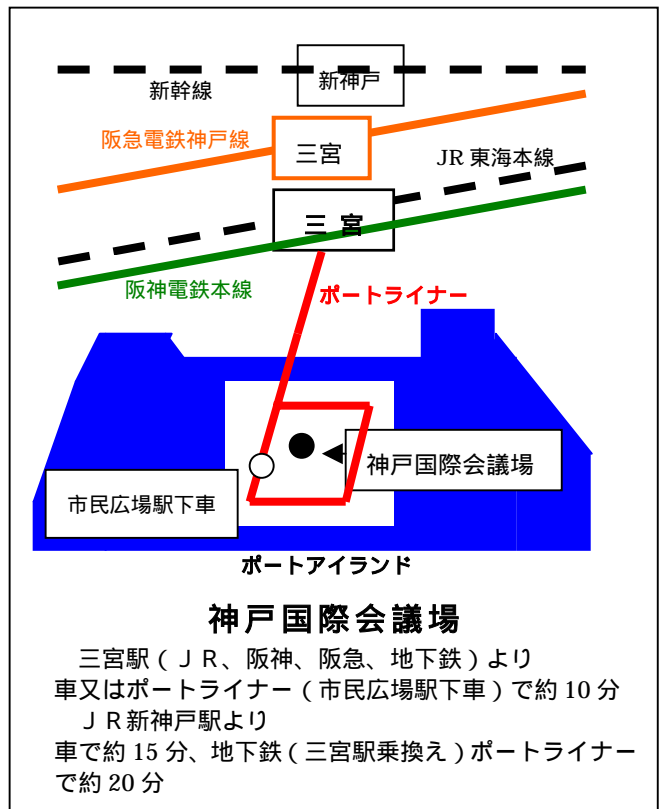
場 所:神戸国際会議場 (神戸ポートアイランド)
神戸市中央区港島中町 6-9-1
TEL:078-302-5200

【内 容】

13:00～ 開講に当って(その経過を追って)
山田 俊満(日本技術士会近畿支部建設部会長)

13:20～ 基調講演
笹山 幸俊(当会 理事長)

14:00～ パネルディスカッション
室崎 益輝(独立行政法人消防研究所理事長)
新田 保次(大阪大学大学院工学研究科教授)
渋谷 和久(国土交通省都市・地域整備局 都市計画課開発企画調査室長)
正木 啓子(大阪府建築都市部理事)
清水 煌三(奈良県障害者運転者協会事務局長)
青砥 謙一(兵庫県住宅供給公社理事長)
総括コーディネータ 山田 俊満



【問合せ先】

社団法人 日本技術士会 近畿支部建設部会 担当:森田孝雄、杉本哲雄
TEL & FAX:06-6444-3722

「防災技術講演会」開催

「和歌山県主催」の講演会です。

近い将来、必ず襲い来る東南海・南海地震。それに伴う巨大津波。発生時には、日本全土が広域に甚大な被害を受けるものと懸念されています。

県では、地域の自立に必要な防災・応急対策を地域の人の力で支えていただくため、防災技術エキスパート制度を始めました。本制度を活用して何ができるのか? 一緒に考えてみませんか?

日 時:平成 17 年 2 月 4 日(金) 13:30～16:30
(開場 12:30)

会 場:和歌山県民文化会館小ホール
(JR「和歌山駅」または南海電鉄
「和歌山市駅」よりバスで約 10 分)
和歌山市小松原通り 1 丁目 1
電話:073-436-1331

参加費:無料(先着 400 名)

【内 容】

- 地域にエキスパートを育てよう -

地域に潜在する技術力

前田 敏 氏 (東洋建設株式会社)

地震が起こったら何ができますか?

酒井 浩一 氏 (高知県危機管理担当理事)

災害時における専門家の役割

沖村 孝 氏 (神戸大学教授)

【問合せ & 先申込先】

会社名・住所・電話・FAX 番号明記の上、E-Mail
あるいは FAX にてお申込ください。
和歌山県県土整備部県土整備総務課

かみさこ おおた
防災班 上 裕・太田様宛

TEL:073-441-3061

FAX:073-431-6350

E-Mail:oota_k0001@pref.wakayama.lg.jp

次回、NPO 主催の勉強会

時期：3月下旬を予定

講師：朝日新聞社 編集委員 中山茂樹氏
を予定しております。

詳細は後日ご連絡いたします。

ご期待ください。

3. 活動報告

本会活動の一つである行政との活動の重なりを得る為の組織（4号ニューズレターで紹介した「神戸防災技術者の会」をモデルにした構想）づくりを呼びかけに一部内閣府の力をお借りして下記の府・県を訪問いたしました。

1月5日（水）

滋賀県

沢井 進一 文化生活部防災監他 1名

1月6日（木）

和歌山県

酒井 利夫 県土整備部長

1月7日（金）

京都府

後藤 慎一 企画環境部企画参事（総括）他 2名

奈良県

藤井 賢一 企画部長

いずれも持参の資料を手渡して組織づくりの説明したが、好意的な受け取り方をされた上で、それをどの部署で受けてどのように立ち上げていくかを検討するという府県が多い。これまですでに兵庫県や大阪府には説明済みで、双方とも実現化に向けて作業中である。

（報告：山田俊満）



4. 事務局より

事務局からのお知らせです。ご一読ください。

資料提供のお願い

事務局では、下記の3つの災害についての資料収集を行っております。提供できる資料がありましたら、事務局までお知らせください。

1. 新潟県中越地震関連
2. 台風23号関連
3. 平成12年三宅島噴火関連

標記の3つは、内閣府の中にも対策本部が設置されているようです。ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

今後のNPOの活動について

下記2つのワーキンググループの募集をしております。ホームページからの報告も可能です。

**A：災害後の対応[救助・救援][復旧・復興]
クライシスマネジメントが中心です**

**B：災害前の対応[復興・再建][再編・整備]
リスクマネジメントが中心です**

まだお知らせいただけてない会員の皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

広告募集

「WEB広告の募集」と「勉強会協賛広告の募集」をしております。

「WEB広告」は、バナーからのリンクで重点的宣伝のページが掲示されます。また「勉強会協賛広告」は、定期的開催される勉強会の資料と一緒に、企業の宣伝用チラシを入れることによる広告です。

是非ともご活用ください。

= 編集後記 =

皆様のご自宅では、昔からお正月には欠かせない、しめ飾り（外から災いが内に入らないように）や門松（神様をお招きするための目印）鏡餅（神様にお供えした後いただく事で、神様からの祝福を受けようとする餅）は飾っていらっしゃいましたか？年々、お正月をこのような形でお祝いする家が少なくなってきたように思います。数年前までは車にも、しめ飾りをするのが当たり前だったように思いますが、今はあまり見かけなくなりました。

昨年末のスマトラ沖地震、新年早々のアメリカでの大雨、オーストラリアでの山火事と災害が続いております。幸せに安全に暮らせるようにと祈りながら、11日の鏡開きの日にはお雑煮をほおばりました。